

**とよたシニアアカデミー はじめの一步講座  
「浮き玉プランターで寄せ植え体験」**

**日時：11月13日(土)10:00~11:30**

**場所：西山公園 研修室、大型ハウス**

**講師：栗本浩一氏 (P-BASE職員)**

**杉山佐由紀氏 (豊田市環境学習施設 e-c o T職員)**

**田中 利也氏 (ジョイナス栄職員)**

**参加者：14人**



▲皆さん、お話真剣です▼

▲P-BASE 栗本さん

豊田市内の公共施設や店頭、個人のお庭などで目にする「浮き玉プランター」。その講座ということで、申し込み受付開始日で定員になってしまいう程、反響がありました。当初の予定がコロナの緊急事態宣言中となってしまったこともあり、日程変更して開催となりました。当日、14人が参加しました。

まず、「浮き玉プランター」の浮き玉は、元々、東北の漁師さんが養殖いかだで使っていたもので、どういう経緯で豊田市に運ばれ、プランターになったのかということをお話しました。

東北の被災地支援のボランティアに行かれた時、「浮き玉プランター」をたまたま目にし、気になって作っているところを尋ね、話を聞いたこと。障がい就労継続支援 B 型事業所で、漁業を廃業された方や新品に買い替える方の古いもの、割れてしまって使えないもの等を集めて、プランターにしていたこと。集まりすぎて困っていて「豊田で使いませんか?」と言われ、悩んだ末、豊田市に運んだこと。今は、プランターの加工、そのプランターに植える花を作ること、使う土を作ることなど、福祉事業所などと一緒に取り組んでいることを話されました。

次に、豊田市環境学習施設 e-c o T の杉山さんから、プランターに入れる堆肥として、「段ボールコンポストでできた堆肥を使いませんか?」というお話をしてもらいました。家庭の燃えるゴミの大半が生ごみで、生ごみを段ボールコンポストに入れるだけで、ずいぶん日々のごみの量が減り、できあがった堆肥は畑やプランターに入れると、花や野菜がよく育つそうです。段ボールコンポストは、e-c o T の講座ではありますが、今回は、追肥として少しずつプランターに入れられるように、できあがった堆肥を少し分けてもらいました。

最後に、大型ハウスへ行き、寄せ植え体験をしました。使う苗をジョイナス栄で育てた葉ボタンを使いました。ジョイナス栄の職員田中さんからアドバイスを受けながら、受講者のみなさんは、思い思いに植えていました。



▲竜神交流館にある浮き玉プランター



▲e-c o T 杉山さん



**【受講者のふりかえりより】**

- ★いろいろなエコがありビックリです。又鉢植えも可愛らしく買い足したいと思っています。多分ですが、エコ(段ボールコンポストの講座に)参加します。(60代 女性)
- ★土造りから廃材を利用して楽しい花植えができ嬉しく思いました。(60代 女性)
- ★生ごみをコンポストに入れてやっているけど畑にいれるのが大変なのでダンボールコンポストやってみようと思った。浮き玉プランターがかわいい。(60代 女性)
- ★今まで浮き玉のプランターを3, 4カ所で見ただけで気になっていました。今回震災からこれが繋がっていることを知り、良くわかりました。いろいろな所で(ボランティアや仕事)環境・福祉の為に力を尽くしている人がいることが分かり、ためになりました。ありがとうございました。(60代 女性)
- ★SDGs 毎日テレビで聞く言葉いろいろな場面で大事なことだと思えます。これから毎日の生活を見直していかなくてはと思います。(70代 女性)
- ★材料の浮き玉の利用の仕方を聞いてビックリ感動しました。これで庭を飾りたいと思います。(70代 女性)



▲ジョイナス栄 田中さん